

今年の夏、ラニーニャ現象で暑くなる？

気象庁が予想

2016年4月11日 朝日新聞デジタル

気象庁はエルニーニョ現象が6月ごろまでに終息して8月までにはラニーニャ現象が発生する可能性がある、と11日発表した。

ラニーニャ現象が発生すると、日本付近では太平洋高気圧に覆われやすくなり、夏は暑く冬は寒くなることが多いという。

ラニーニャ現象はエルニーニョ現象と逆で、太平洋の南米ペルー沖付近の海水温が低くなり、温かい海水が太平洋の西側へ押しやられる。

気象庁によると、エルニーニョ現象が終息した年にラニーニャ現象が始まれば2010年の夏以来。この年は沖縄・奄美地方を除き平年よりも暑い夏となり、北日本、東日本は記録的猛暑となった。



「2016年は史上最も暑い年になる」 NASAの気象学者が警告

The Huffington Post

アメリカ航空宇宙局(NASA)は、4月の世界の気温と海水温が観測史上最高を記録したことを発表した。

このまま推移すれば、2016年の年間平均が記録を更新し、「史上最も暑い年」となる可能性がある。

NASAの気象学者ギャビン・シュミット博士は5月14日、「4月の観測結果からすると、99%の確率で2016年は観測史上最高になる」とTwitterで指摘した。